

# 富岡地域づくり 協議会だより



第24号

令和4年11月30日

広報委員会

<https://www.town-tomioka.click/>

## 『もったいない市』が開催されました



コロナの感染状況は、一時期より減少傾向にはなっていますが、依然としてコロナ禍にあります。そうした中で春につづき秋の「もったいない市」が、令和4年10月9日（日）に、一定のコロナ対策を講じて3年ぶりに開催されました。

なお、今回はフードドライブ（家庭で余っている未使用食品を集め、それを必要とする地域の福祉施設や団体などに寄贈する活動）も初めて行われました。



当日は、富岡地域づくり協議会の組織団体である【地域環境部会（環境推進員協議会・エコネットくぬぎ山）・地域コミュニティー部会】及び富岡まちづくりセンターの職員の皆さんが運営を担当しました。

もったいない市は、市の事業の一つで、市内の各地区の多くが同一日にごみの減量化等を目的に開催しています。

ごみの減量化には、3R（スリーアール）の推進が重要な事項となっています。

1つ目は、リデュース（Reduce）で、ごみを作らない・発生させない運動。2つ目は、リユース（Reuse）で、ごみを出さない・繰り返し使う運動。3つ目は、リサイクル（Recycle）で、ごみを生かす・資源に戻す運動。

もったいない市は、特に3Rの2つ目の「リユース」を進めることによりごみの減量化を図り、持続可能な社会の実現を目指しています。

当日、地域の多くの方々から、まだ使える古着・食器（陶磁器）等をたくさん持ってきていただきました。その品物を展示し、気に入ったものを購入していただきました。「リユース」に少なからず貢献できたのではないかと思います。

今後とも、こうした催しを通して地域の皆さんとの「絆」を深め、良好な環境の維持向上につなげていけたらと考えています。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

尚、品物を提供いただいた方、購入いただいた方、来場いただいた方々、この催しに関わっていただいた皆々様に心から感謝申し上げます。



## 『所沢市総合防災訓練』が開催されました

令和4年9月3日（土）8時00分より、所沢市総合防災訓練が実施されました。3年程前までは持ち回りにより、富岡地区内の小学校の一会場で実施されていました。

富岡中学校の様子



まちづくりセンターも行いました



すなわち富岡地区18自治会が一同に会して、本防災訓練が行われていたものです。

これが、今年度より、道傍公園、中富小学校、富岡小学校、富岡中学校、西富小学校の5か所での実施になりました。各会場に対象自治会が割り当てられ、それぞれの場所で訓練が行われました。

「昨年2月に発生した福島県沖地震や、7月に発生した静岡県熱海市での土石流災害では、多数の尊い命が失われました。地震及び風水害などの自然災害そのものを防ぐことは困難です。

しかし、市民一人ひとりがふだんから災害に対する正しい知識を身につけ、いざという時に落ち着いて行動できる準備を整えておくことで、災害による被害を最小限に抑えることが可能です。そして、まず身近にできることから着実に取り組むことが重要です。」

こうした趣旨や目的から、防災訓練は行われているもので、特に今回のように5会場で実施の場合必須訓練と各会場ごとに設定された訓練とで行われることになります。

会場によっては、備蓄倉庫の見学もありました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数に制限があった会場もあり、西富小学校の会場は中止になりました。制限が解けましたら、皆様の奮っての参加をお願いいたします。



### <編集後記>

記録的な夏の暑さも去り、秋の気配が感じられるようになりました。それどころか、最近では朝晩をはじめ肌寒ささえ感じるようになりました。

それに伴い、新型コロナウイルスの新規感染者も減少してきました。地域づくり協議会で予定していた今年度の事業も順調に実施できてといたいいところですが、そのコロナの影響や不安もあってか、なかなか思うようにはいかないようです。

ご存知のように、富岡地区体育祭も中止の決定をせざるをえませんでした。我々の生活に目をやると、徐々に元の平穏な暮らしが戻りつつあるのかなと思えます。かといって、次のコロナの流行が全くなかったという保証はどこにもありません。また、報道によると、インフルエンザの猛威も懸念されています。自らの身を守る対処は、ないしは、配慮はやりすぎということはありません。今後も、気を抜かずに、生活への配慮を怠ることなく行っていきたいと思います。